

信・鮮・力を発揮する！それがNaITOです！



## Business Report

第64期 ビジネスレポート | 2014年3月1日 ▶ 2015年2月28日

## 信頼される透明性の高い経営を行い、 「情報と技術の商社」として企業価値の増大を目指してまいります。

社長の坂井俊司でございます。

日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第64期ビジネスレポートをお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、切削工具・計測・産業機器・工作機械等の多品種におよぶ取扱商品群を、国内外の事業パートナーに「最適な商品、最高のサービス」として提供し、製造業の技術革新を通して産業全体の発展に寄与していくことを経営理念としております。この経営理念の達成に向けて、全てのステークホルダーから信頼される透明性の高い経営を行い、「情報と技術の商社」として、皆様からの期待に応えられるよう鋭意努力してまいります。



今年度は、「中期経営計画 信・鮮・力2016」の2年目の年であります。

### 『地域密着を進め、きめ細やかな対応を目指します。』

昨年度の埼玉支店、宇都宮事務所および岡谷事務所の開設に続き、今年度は山形と郡山に事務所を開設しております。今後もこれまで以上に国内のお客様の多様なニーズにお応えできるようにスピーディーかつきめ細やかな対応を目指します。

### 『専門力を高め、魅力ある提案を行います。』

商品開発室ならびに計測開発部の一層の強化を図るとともに、切削、計測に続く新商品を開拓し、お客様に常に魅力ある提案を行います。

### 『対面営業を徹底し、NaITOらしいビジネススタイルを推進します。』

お取引先様とはビジネスを共有できる関係であり続けたいと考えております。営業マン一人一人がお取引先様と、しっかりとコミュニケーションができるように人財の育成も行っていきます。

製造業の国内回帰が進む中、商機を逃すことなく皆様と飛躍したいと存じます。

今後ともより一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2015年5月 取締役社長 **坂井俊司**

当社は、機械工具の商社として、メーカー様と販売店様をつなぎ、エンドユーザーのもとへ商品をスムーズにお届けするという大切な役割を果たしております。

日本国内で、モノをつくる製造業はとても重要な位置にあります。私たち機械工具商社が産業の基礎資材を円滑に供給することによって、製造業のさらなる発展を支えることにつながります。



当社は、2014年度より「中期経営計画 信・鮮・力2016」（2014年3月1日～2017年2月28日）をスタートさせております。この3カ年においては、激しく変動する経営環境下において地域密着を指向する中で、「価値を提供し」「進化を実現し」「お客様からFirst Callして頂く」企業を目指してまいります。



信とは、あらゆるステークホルダーからの信用・信頼を高めること



鮮とは、情報・技術の鮮度の高さや意思決定・行動の迅速性を高めること



力とは、専門的な技術力・情報力を高めることや人的魅力・実行力など社員の総合力を高めること

■重点課題

1. 収益力の強化
2. 人財の育成・活用

■目標とする経営指標

2016年度

売上高	430億円 (410億円)
経常利益	7億円 (6.5億円)

※括弧書きは当初目標です。

■実績

2014年度

売上高	408億円
経常利益	6.7億円

## 1 PB商品の統一ブランドを立ち上げ



様々なブランド名で構成されているPB商品を、“NR”ブランドに統一し、ロゴもリニューアルしました。

“Renovation”には、様々な当社オリジナルメーカーのブランドを再構築して、新たな、魅力あふれた商品を紹介するという思いが込められています。

2015年度からも多岐に渡る商品分野で、NRブランド商品を開発し、ユーザー様に提案をまいります。



## 2 地域密着展開の推進

販売店様やユーザー様に近いところに拠点を構え、より多くの時間をお客様との情報交換に活用すべく、地域密着の展開を推進しております。

2014年3月に埼玉支店（埼玉県桶川市）、4月に宇都宮事務所（栃木県宇都宮市）、5月に岡谷事務所（長野県岡谷市）を開設しました。また、2015年3月には山形事務所（山形県山形市）と郡山事務所（福島県郡山市）を開設しております。今後も市場性等を考慮の上、地域密着体制を築いてまいります。



山形事務所 (外観)



郡山事務所 (外観)

### 3 多関節ロボットのデモ機実演

当社では、ユーザー様の自動化・省力化ニーズに対応すべく、ロボット関連の周辺機器等についてもメーカー開発を進めております。

2015年度は、多関節ロボットをデモ実演機として購入し、全国各地の販売店様やユーザー様に各種展示会やセミナーを通して、高速動作などの特長を実感していただきます。

10月に開催されるMECT2015でも実演を予定しております。



### 4 展示会報告

JIMTOF2014（2014年10月30日～11月4日）において「モノづくり研究所」をテーマに新規PB商材の展示を行い、前回は上回るお客様にご来場いただき、新しい商品の提案を実施しました。

2015年度は、名古屋で開催されるMECT2015（2015年10月21日～10月24日）に出展を予定しております。



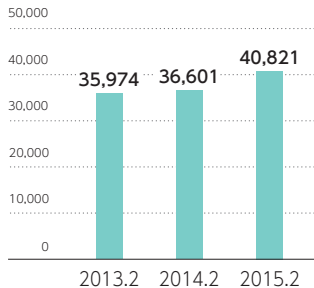
当社ブースが『Exhibition Design』という優れたブースデザインを集めた書籍に掲載されます。  
(2015年7月発刊予定)

## POINT

- 【景況】** 我が国経済は、消費増税に始まり金融緩和に伴う円安ならびに株価の高騰や原油安等を背景に緩やかな景気回復基調で推移しました。当社を取り巻く環境においても概ね同様の状況で推移しました。
- 【当社】** 中期経営計画「信・鮮・力2016」の初年度として、各種施策を着実に実行すべく事業展開を図り、当社のコア事業である切削工具の拡販に努めるとともに、その周辺分野である計測や産業機器等においては、ものづくり補助金案件のフォローおよび受注促進等の各種キャンペーンを実施しました。また、地域密着の展開を図るために、埼玉支店、宇都宮事務所および岡谷事務所を開設しました。

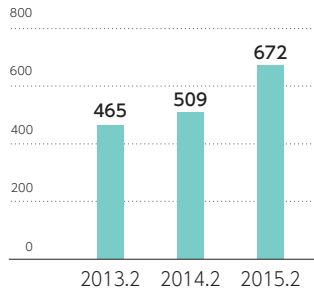
### 売上高

(単位：百万円)



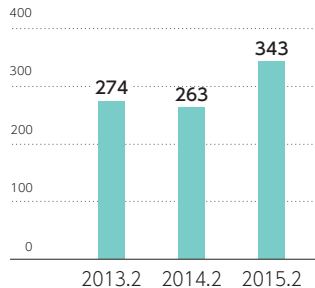
### 経常利益

(単位：百万円)



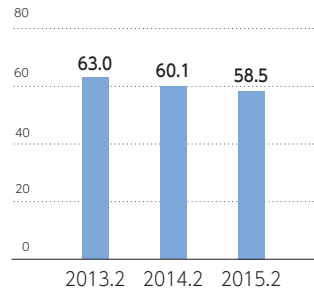
### 当期純利益

(単位：百万円)



### 自己資本比率

(単位：%)





取扱商品	当期		前期		前期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
切削工具	19,954	48.9	18,495	50.5	+7.9
計測	3,601	8.8	2,856	7.8	+26.1
産業機器	15,476	37.9	13,778	37.6	+12.3
工作機械	1,473	3.6	1,121	3.1	+31.4
その他	316	0.8	348	1.0	△9.3
合計	40,821	100.0	36,601	100.0	+11.5

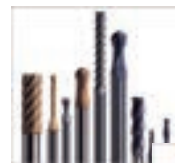
※当期より取扱商品分類を変更しており、前期比は前期の実績値を新取扱商品分類に組み替えて算出しております。

## 【切削工具】

部品加工や一部金型加工の需要増加の影響もあり、売上高は199億54百万円（前期比7.9%増）となりました。

## 【計測・産業機器・工作機械】

ものづくり補助金案件の需要を獲得するとともに各種キャンペーンの積極展開により、売上高は計測36億1百万円（前期比26.1%増）、産業機器154億76百万円（12.3%増）、工作機械14億73百万円（前期比31.4%増）となりました。



切削工具



計測



産業機器



工作機械

## 連結貸借対照表 (要約)

科目	当期 (2015年2月28日現在)	前期 (2014年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,378	13,063
固定資産	1,869	2,218
有形固定資産	182	225
無形固定資産	98	41
投資その他の資産	1,588	1,951
<b>資産合計</b>	<b>16,248</b>	<b>15,282</b>

(単位：百万円)

科目	当期 (2015年2月28日現在)	前期 (2014年2月28日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,493	5,651
固定負債	247	441
<b>負債合計</b>	<b>6,741</b>	<b>6,093</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,340	9,106
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	2,285	2,285
利益剰余金	4,774	4,540
自己株式	△10	△10
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>166</b>	<b>81</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,507</b>	<b>9,188</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>16,248</b>	<b>15,282</b>

## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	当期 (2014年3月 1日から 2015年2月28日まで)	前期 (2013年3月 1日から 2014年2月28日まで)
売上高	40,821	36,601
売上原価	36,435	32,653
売上総利益	4,385	3,948
販売費及び一般管理費	3,922	3,713
営業利益	463	234
営業外収益	591	629
営業外費用	381	354
経常利益	672	509
特別損失	90	—
税金等調整前当期純利益	582	509
法人税等	238	245
少数株主損益調整前当期純利益	343	263
当期純利益	343	263

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	当期 (2014年3月 1日から 2015年2月28日まで)	前期 (2013年3月 1日から 2014年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△755	223
投資活動によるキャッシュ・フロー	428	1,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	139	△1,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6
現金及び現金同等物の期首残高	599	265
現金及び現金同等物の期末残高	412	599

## 会社概要 (2015年2月28日現在)

社名	株式会社 Naito
本社	東京都北区昭和町二丁目1番11号
設立年月日	1953年1月23日
資本金	22億91百万円
従業員数	290名
証券コード	7624 (東京証券取引所JASDAQ (スタンダード))
事業内容	切削工具、計測、産業機器、工作機械等の販売
取扱メーカー	国内外約600社
販売先	国内外約2,000社
取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、常陽銀行

## 株式状況 (2015年2月28日現在)

発行済株式総数	54,789,510株
株主数	3,163名

当社ウェブサイトのご案内  
<http://www.naito.net/>



## 上位10名の株主 (2015年2月28日現在)

株主名	持株数 (株)
岡谷鋼機株式会社	25,000,000
日立ツール株式会社※	3,108,960
株式会社タンガロイ	3,094,960
ユニオンツール株式会社	3,090,800
京セラ株式会社	3,080,000
株式会社不二越	1,568,900
S M C 株式会社	1,547,000
日東工器株式会社	1,541,300
大昭和精機株式会社	1,540,300
Naito取引先持株会	1,534,000

※商号変更：三菱日立ツール株式会社 (2015年4月1日付)

株主メモ	
事業年度の末日	2月末日
定時株主総会 基準日	毎年5月 2月末日、その他必要により取締役会で決議し、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 郵便物送付先	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.naito.net/">http://www.naito.net/</a> ) (ただし、事故、その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 役員 (2015年5月26日現在)

取締役社長	坂井俊司
常務取締役	河野英之
取締役	徳田信幸
取締役	中島徹
取締役	和田光央
取締役	坂田光徳
常勤監査役	遠藤孝之
監査役	白川誠
監査役	川松康吉
監査役	河村元志